

自己評価

1 個性や能力の伸長を図るきめ細やかな学習の充実

教員

- ・ 学力差、能力差、多様性のある中で、**chromebook** の活用等、工夫して行われている授業が多い。
- ・ 共通テスト対策ができていると思えない。どの先生がどの生徒にどのような指導をしているのか、可視化するべきだと思う。観点別評価に対応した授業改善も教員間の差が激しい。各自の思い込みによる改善や、そもそも改善しようとならない人もいる。
- ・ 授業日数の確保が難しく、年間を通して法定時数に足りない教科がほぼで、進度も早くなるため教科数の削減などの検討も必要かと考える。また教科での取り組みにはなるが授業以外での学習機会 の減少が顕著であるため対策が必要である。
- ・ 概ね、出来ているのではないのでしょうか。**chromebook** の活用については、さらに実践・研修を進めることが必要と考えます。
- ・ 今年 1 年生から導入が始まった **Chromebook**。これから更に研修を深めていきたいと考えています。
- ・ **chromebook** を活用した授業により、生徒が課題に取り組みやすい環境を作ることができていたと思います。しかし、授業中にその授業とは関係ないことを調べていたり、別授業の課題に取り組み本来の授業の説明を聞いていないなどの生徒がいたので、**chromebook** の使用方法や何かしらの対策をとる必要があると感じました。また、課題に対して調べたものをそのまま写して解答する生徒もいたので、考える力が身につかないなと思いました。
- ・ コースの新設は難しいのではないのでしょうか
- ・ 各教科で、**Chrome book** の活用および授業改善の取組が進んでいるように見える。それらの進捗状況や実践事例を学校組織として取りまとまり、蓄積したりできると良い。
- ・ 「コース新設」の項目はこれから検討されるのでしょうか。
- ・ 診断テストの結果をふまえて指導することができていない。
- ・ 生徒の能力差は大きいですが、生徒間での話し合いのなかで、設問の意味がわかって取り組めるようになる層がある。設問がわかることで、目的を持って情報を集め、知識の定着につながるので、生徒 は前向きに参加していると思う。一方、学力の高い層も、相手に説明して全体をリードする場面があり、満足度はあると思うが、総合入試で使える、より複雑な情報収集や個性的な思考力の育成をする 時間が少ない。

保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・研究・証は各教科で行われていると思うが、プレゼンテーションやレポート提出など多くの教科で行っているため、生徒が課題に追われている。教科間での調整が必要と感じる。 ・学力には個別差があると思われるので、グループ別々での対応が理解度も高められるので良いと思います。 ・生徒一人一人の個性を大事にして下さり、とてものびのびと三年間過ごす事が出来、大変感謝しています。学習面でも先生方の熱心なご指導のお陰で、やる気をだして取り組めた事に本当に感謝しています。ありがとうございました。 ・進学希望の生徒にも、丁寧にアプローチしていただいていると思います。また、端末を活用した授業についても多くなり、生徒が表現する場面が増しているように感じます。・引き続き課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成に努めていただきたい ・クロームブック活用は良いと思う ・教科によってとなりますが、1年生の時は授業がわかりやすく自己学習もスムーズだったものが、授業がわかりにくく（相性もあるかと思います）自己学習や試験勉強に影響が出ていると感じています。本人の努力だけでは難しい時もあります。そういった部分を教科担当の先生に伝えるのもなかなか難しいので、どうしていくかが2年生になってからの課題になっています。もちろん本人の努力も必要ですが、なにか対策があればと思っています。 ・この具体的な取り組みを定着させて頂きたいと思います。特に学習面に関して、個々に応じて進学の受験対策を充実して頂けると有り難いです。
評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別の指導は有効だと思うが、生徒本人が将来の進路や職種については出来るだけ早めに希望を担任や教師に伝える事で、特に重点的に取り組む教科を示してあげる事でより効果があるのではないかと考える。
理事・幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や能力の伸張を図るきめ細やかな学習の充実に向けた教員の努力が十分認められる。

2 生徒の多様化に対応する健康・安全教育や教育相談活動の充実

教員

- ・ 自律心が低かったり、他者を理解する力の低い生徒が多く、人間関係のトラブルが多いと感じる。授業、ホーム、行事、部活動、生徒会活動等を通して、自信をつけさせてやれば良いのだが。
- ・ 生徒指導のプレが大きく、極めて指導しにくい。こちらが規則に則って指導しても、「あの先生に良いと言われた」などと言われることもあり正直虚無感を感じる。
- ・ 情報の共有化が少ない（学年間での）個性を生かすというよりは、個性の角を削り丸くするような移動が主のような気がした。
- ・ 概ね、良好。生徒一人一人の実態の把握とその教員間での情報の共有、さらには家庭との密な連携をさらに進めていくことが大切と考えます。
- ・ 新型コロナ感染症の関係で、マスクをしての生活は何かと大変です。早く収束することを願っています。
- ・ 生徒同士のトラブルが何度かあり、他社理解力・自己管理能力の育成が行き届いていないのではないかと感じました。その場その場での問題解決はしていたものの結果として生徒が成長するような指導はできてなかったと感じました。
- ・ 困難を抱えている生徒の把握・情報共有・きめ細かい対応を行っている。一方で、入学時に比較し家庭学習時間が減少する生徒が多く、学習面における「自らを律して行動できる自己管理能力の育成」に課題がある。
- ・ コロナは学校内感染が広がっていないことが幸いです。
- ・ 生徒の特性もあるが、1年生は概ね安定している。学校生活のルールを先行できているので、それぞれの違いを個性として認め合う姿が見られる。学校生活に戸惑った生徒の保護者とは情報を共有して、成長を見守る態勢ができています。
- ・ 教育相談により力を入れていくべきだと思う。担任・養護教諭任せになっていることが多いと感じる。

保護者

- ・引き続きコロナとの共存生活になると思われるので、活動がただ制限されるだけではなく工夫しながら活動は続けられるといいと思います
- ・テストで点数の取れなかった科目で、放課後に個別指導して頂いた事があり、とても分かりやすく、授業で理解できなかった内容も理解出来たと、喜んで帰宅したことがあります。とても丁寧に 対応して頂き感謝申し上げます。
- ・子供との家での会話などから、先生方の熱心な生徒一人一人の適切な対応が素晴らしいと思いました。
- ・コロナ対策については、校内で発生するまで、小中学校との取組に温度差があり、後手な感じがしていました。でも、現在は状況に相応しいものになっているかと思います。
- ・引き続き、生徒の行動面等の実態を把握し、きめ細かな対応をお願いしたい
- ・健康教育について、寮生の食事にも目を向けて下さい。スポーツをしている子供達です。学校としてしっかりサポートしていただきたい。早急に対応お願いしたいです。
- ・個人的要望になります。生徒の中には表面上ではわからない持病など抱えている子もいるのではないかと思います。実際、毎日本人も家族も学校でのコロナ感染を不安に思っています。コロナが始まって3年が経ちますが、我が家は未だに感染しないように日々の行動や生活に気を配り生活をしています。コロナに関して各ご家庭での考え方があると思うので仕方のないことだと思っていますが、学校側から情報提供などあれば非常に助かります。本人、家族と呼吸器疾患を持っていますので感染状況など把握できれば状況に合わせて対応していけると思っています。入学してから学校と家の往復で2年生も終盤を迎えます。放課後や休日に友達と遊んだり、寄り道したりと楽しみにしていた高校生活を一度も送ることができていない状況です。それは我が家で勝手にしていることですが、感染しない為にはそうするしかないのかなと考えています。本人には可哀想な思いをさせていますが、それだけ感染するわけにはいかないと考えています。メールでもプリントでも、個人にでもカタチは こだわりませんが、クラスや学年、学校全体での感染状況が（人数）わかると安心にも、感染対策にも繋がるので我儘ですが対応していただけると有り難いです。個人情報の兼ね合いがあると思いますので人数だけで構いません。
- ・この具体的な取り組みを定着させて頂きたいと思います。
- ・一人一人に対応してもらえるのはありがたいです
- ・従来通りの学校の活動で良いと思います。

評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取り組み、自己評価の内容をしっかりと生徒、指導者双方で共有することが肝要と考えます。 ・自己管理能力を養うことはとても大切だと思います。 ・個々に対して、実現できたら、素晴らしいと思います。
理事・幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・最近どの教育機関においてもうつなど精神的な障害や病気をもつ学生が増えている。よって、そのような学生が気軽に相談できる環境とその学生を配慮した勉学環境の助成が必要であると思う（すでに対応しているのであれば、この意見はご放念ください）。 ・個別指導はこれからますます必要とされると思います。一層の充実を期待します。 ・新型コロナウイルス感染対策に関する適切な情報提供と指導等が講じられており、その中で各種教育活動に係る成果を上げてきていることは大変素晴らしいと思います。

3 育てたい資質・能力の育成

教員	<ul style="list-style-type: none"> ・自律していない生徒が多く、学習・人間関係・部活動等あらゆることに依存性が強いいため、自主・自立が難しい。教師主導で引っ張っていく方が効果的と思う場面が多い。 ・授業改善検討チームを立ち上げたが、うまく動かせていない。私自身大いに反省しています。 ・各授業でルーブリックやポートフォリオなどを使い資質能力育てるように努めていた。 ・育てたい生徒の資質・能力に関しては、卒業後の進路実現をも見通したものであることが肝要と考えます。 ・今年から、海外研修が実施できたことは大変良かったと思います。 ・教員同士の授業参観や生徒による授業評価により、実際に意見を聞くことができ、授業改善に努めることができたと思います。 ・コロナの終息に向けて、今後、国際交流がより盛んになると思います。 ・各教科で授業改善の取組が進んでいるように見える。それらの進捗状況や実践事例を学校組織として取りまとめたり、蓄積したりするために、各教科担任の自己評価の成果物を共有すると良い。 ・多様な生徒の多様な資質・能力をアセスメントし、取り組みを充実させたいです。 ・3観点を意識するあまり、海星学院が挙げている8つの力を全て網羅できる授業を作れていないと思う
----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・クロムブックの導入により、生徒が調べる作業が容易になり、新しい学びの形に変わっている。しかし、自分の思考を言葉にまとめることは難しい。発表やレポートの作成が思考力の向上には有効だが、生徒が認めてほしい努力や工夫の評価が返せているかは研究が必要である。 ・改善されてきていると感じる。すべての活動を育成すべき資質や能力に当てはめて行っていくのは難しいと感じる。資質・能力・育成などの言葉に縛られすぎているようにも感じる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力は今後も重要になると思います ・海星高校の授業の中でのグループディスカッションが、大学の総合型入試のグループディスカッションに、大変役立ったようで良かったです。 ・今回、海外の見学旅行に踏み切っていただいたことに、感謝いたします。かけがえのない経験を積むことができたと感じています。 ・周りの意見に振り回されないよう自己管理能力の育成に努めていただくほか、自己表現ができるような育成にも繋げてほしい ・研修旅行で海外に行けるのは、勉強になると思う ・自分の意思をしっかりと持っているので特に不安に思う事等はありません。 ・この具体的な取り組みを定着させて頂きたいと思います。時代の変化に伴い、ジェネレーションギャップを生む問題が深刻になっており、特にコミュニケーション能力や感情的知性を高めていくことは社会的にも重要視されていると思っております。高校生活の中で指導して頂けると大変有り難いです。
評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・価値観の多様化が益々進んでいる中で、生徒指導や教科の充実は教育現場には大変かと想像しますが、評議員会にて、状況をお伝え頂いた中では皆さんのご努力に評価させて頂いています。 ・グローバル人材を育成することか社会から求められている。 ・特に海外見学旅行は、コロナの中、思い切って出かけたことに大きな収穫があったのではと感じておりました。
理事・幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・語学能力およびコミュニケーション能力向上（論理性）に関して、教員の努力と成果が認められる。 ・海星ニュースでも紹介されている海外見学旅行や自然体験活動等は着実に生徒の主体性や言語力の向上等を促すとともに、今後の成長に大きな期待をもたらすものと思います。

4 3年間を見通した計画的な進路指導の充実

教員

- ・進路活動にも手のかかる生徒が多い。現2年生で実施しているプレゼンやインターンシップの成果がどのように出てくるか期待する。
- ・進路指導部がもっとリーダーシップを取るべきだと考える。2学年の場合、進路から降りてきたものを、他分掌の若手教員が下請けになっている。
- ・総合型選抜を見据えた教育活動が充実してきたとともに内容においても洗練されているように思う。継続した取り組みと全教員での指導感などの偏りをなくせればなおよし。・ほぼ完成したものが出来上がっていると思われるが、各学年での連携をもっと密なものにする必要があると考えます。
- ・生徒のためにも、探求などを通して。さらにバージョンアップしていくことを期待します。
- ・自分自身の進路について具体的に考えている、考えていない生徒の差が大きいなと感じました。前者は進路に向けて資格取得や模試の受講などして進路に向けた活動を進めているが、後者は特にしていないように感じたので、高校3年間と時間は限られているので広い視野で自分の進路を選択したり、模索できるように工夫した指導が必要だと思いました。
- ・2年次に実施したキャリア探究活動をよりブラッシュアップし継続していく。
- ・講習の回数が極端に少なく不十分だと思います。長期休暇は最低1週間。模試の事前講習をもっと多くすべきと感じています。
- ・教育課程及び総合的な探究の時間について、3年間を見通した計画ができた。進路指導について「この時期の生徒にこのような指導が必要である」といった3年間を見通した計画（教員間のコンセンサス）があると良い。
- ・これからも個に応じた進路実現を目指していきたいです。
- ・各学年の計画書が出来上がると、計画的に指導できるのではないかと思う
- ・進路部が中心となり、各学年で取り組みを行なっている。総合の時間でも、さまざまな取り組みがある。一方で、日常の自分の変化を書き留めて、自分の日々の変化を記録することが少ない。高校生活の経験談を使って、入試で自己アピールのシナリオができれば良いです。
- ・探究活動は少しずつではあるが形になってきている。育てたい資質・能力の育成同様、資質・能力・育成などの言葉に縛られすぎているようにも感じる。大きな枠組みは必要とを感じるが各学年によって柔軟に行っていく余裕は必要と感じる。

<p>保護者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者にも力を入れてもらいたい ・それぞれが希望する進路に向けて寄り添って指導していただけたらいいと思います ・自分は何がしたいのか、どんな事が向いているのか分からず、まだ進路について決めかねているようです。今回様々な取り組みがなされている事を知り、とても有り難く思いました。今後この取り組みによる学習を生かし、自分に合った進路を見つけてそれに向かって努力して欲しいと思っています。 ・将来何になりたいかなど、一人一人に熱心に寄り添って下さり良かったと思います。 ・探求の時間については、日常から積極的な取組をしているように思います。プレゼンの機会など、人前に立つ機会が増えることはとても良いことだと思います。 ・進学、就職することの目的を教育活動に組み込み、早い段階からの意識醸成に努めてほしい ・子供が何も言わないのと、まだ一年生で実感がない ・進路につきましては新味になって頂きたい ・この具体的な取り組みを定着させて頂きたいと思います。毎年クラス替えがありますが、最終学年は進路を考慮したクラス編成でも良いのかと思います。
<p>評議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は孫の成長を楽しみにしている世代ですが、客観的に見ていて、何でもいいから、自信を付けさせる一言が人の人生に大きな影響を与えるように感じます。親ではマンネリ化して、響かない一言も教師の配慮により、いざというときに立ち上がれる僅かな自信を持って卒業式を迎えられたらと願っております。
<p>理事・幹事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の計画性および充実性が十分認められる。

5 地域や保護者との連携を重視した教育活動の充実

教員	<ul style="list-style-type: none">・担任を中心に、保護者との連絡、確認はよく取れていると感じる。引き続き信頼関係の構築に努める。・配布物は生徒が提出しない傾向にあるため電子化に向けた取り組みに一層の力を入れてほしい。・良好。町内会との連携を図っての清掃活動やボランティア活動の実施など、さらに地域や保護者との連携を進めていくべきと考えます。・新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者を交えての行事もなかなか実施できない1年で残念です。・キャリア探求学習により、地域との連携や協力が得られたのと同時に生徒それぞれが地域について考えるきっかけになった良い活動だと思いました。コロナ禍による制限はありますがこういった活動を増やしていけるといいなと思います。・PTA活動のあり方は全国的にも話題になっており、本校でも課題として挙げられるとおもいます。・総合的な探究の時間を中心に行っていると思う。・コロナにより、今年も大々的にできたのは、町内のゴミ拾いくらいだった。大人と一緒に活動して社会性を成長させているのが、アルバイトをしている生徒という状況。もっと講演会などができる次年度に期待します。
保護者	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍かつ遠方のため参加できていません・メール、クラスルームがスマホによってわかりづらいので簡単に設定できるようにしてほしいです・コロナ禍の今で、あまり活動出来なかったのが残念でしたが、今年こそは普通の生活に戻れるようお願いしたいです。・PTAとしての取組として、どう関わっていくのか良いのか分からないのが、正直なところです。・コロナで学校に行かないのでわからない・クラスルーム導入により、模擬試験や講習の連絡があり、プリントの出し忘れもあるので助かります・特にありません。自分もなかなか参加するのは難しいので役員を務められている保護者の方や先生方には感謝しております。・この具体的な取り組みを定着させて頂きたいと思います。・クラスルームでの連絡方法は良いと思うが、もう少し充実するともっと良いと思う

評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・海星学院は当該地域の中では特に地域や保護者との連携が進んでいると思います。昨今はアスリートたちが食事や生活のリズムの重要性を述べていますが、それは生徒の健康ややる気にも関連するかと考えますが、工夫しては如何かと考えます。 ・地域と学校が連携して子どもを育てる事は、地域への理解と愛着を育むことになると思う。
理事・幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者はもちろんですが、地域の理解・協力が必要と思います。ぜひ、継続をお願いします。

6 異学年相互の交流やボランティア活動等の工夫

教員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナの影響で、3学年揃っての集会や行事が実施できていない。そんな中で、学院祭や体育祭を工夫して実施できたのはよかった。 ・異学年での発表をぜひ実現させてほしい。 ・概ね良好。さらに進めていくべきと考えます。 ・学年単位での活動が今年実施でき、とても良いと感じた。 ・ボランティア活動を通して得られものは多いので、「履歴書に書くために・授業の課題で良い評価を得るために」といった理由で取り組むのではなく、地域のために自分に何かできないかと自ら進んでボランティア活動に取り組む、向き合うような主体性が身につくといいと思いました。 ・異学年間の交流をもっと充実させなければならない ・ウィズ・コロナのなか、新しい形が生み出されていきそうです。 ・山根先生が主導の時くらいしか機能していないと思う ・生徒たちが優しく、他学年に対しても親切に対応している。ボランティア活動へのハードルも低く、学年を超えた協働活動をしやすい環境になっていると思います。・コロナの影響で少なくはなっているが良好であると感じる。 ・新型コロナに関する規制が徐々に緩和される中、ルールを守りつつ行事やボランティア活動をコロナ前の状況に戻していくことを目標にしていきたい。
----	---

保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・良い経験の場になると思います ・ボランティア活動はとてもいいとおもいます。 ・コロナ禍であまり参加出来なかったのが残念ですが、大学でいろいろ参加出来る事を願いたいです。 ・自分の娘は、生徒会に携わらせていただいている関係で、異学年交流やボランティア活動に多くの機会を与えていただいています。生徒会の生徒にとっては、十分な取組をしていただいているとおもいます。 ・地域の学校、団体や企業等とのボランティアは生徒の有益な経験の場でもあることから引き続き取り組んでいただきたい ・部活が楽しいと言っている
評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・海星学院は特にこの件については進んでいると感じています。 ・奉仕の体験は大切だと思う。 ・いろんな年代の方々と触れ合う機会、除雪、一つにしても、感謝される自分、役に立つ自分の発見は大きな収穫だと思います。大いに取り入れてほしいと願っています。私も高齢になってきて、弱い立場になっていくことを実感しています。
理事・幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・特色を生かした活動の継続を期待します。 ・地域のボランティア活動に参加することは、世代間交流など貴重な体験活動に結びつくものであり、将来、社会人としての知識と経験に生かされるものであると思います。